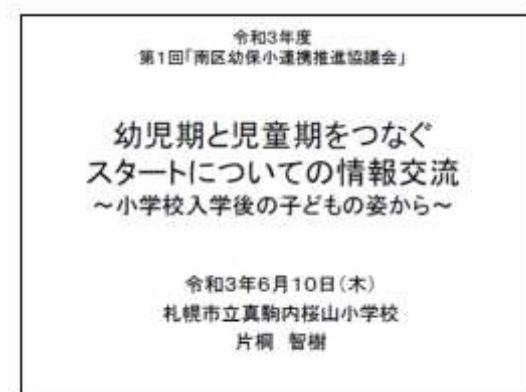


南区幼保小連携推進協議会便り

第1号 令和元年6月24日 発行
南区幼保小連携推進協議会代表者

令和3年度 第1回南区幼保小連携推進協議会が、6月10日(木)に zoom 研修による全体研修という形で開催されました。

総勢98名(42団体)～小学校19校(42名)、特別支援学校3校(8名)、幼稚園9園(26名)、保育所7園(15名)、こども園4園(7名)が参加し、『～With コロナの中でもつなぐ、つながる。育ちのつながり、学びのつながり～』というテーマの元、札幌市立真駒内桜山小学校 教務主任 片桐智樹様に話題を提供していただきました。



小学校入学後の子どもたちの姿のスライドを見ながら、『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』からの育ちのつながりについて、具体的な話を聞くことができました。

て入学してきた新1年生が、コロナ禍で制約がある生活の生との関わりもあり、小学校生活に馴染んでいく姿。自分がたくさんあると、安心した生活につながるということ。幼稚園、こども園で身に付けた力が、小学校での『生活や学び』に活かされていることなどが、分かりやすく紹介されました。

工夫している取組などについても 情報提供があり、幼稚園・保育所(園)・こども園の先生方のアンケートからは、「もっと詳しく聞きたい」という声が上がっています。

また、引き継ぎの重要性についても、参加者で共通理解できた部分が多かったと思います。『幼保小連絡会』では、保護者の承諾を得ているお子さんについてのみ引き継ぐことができますが、その他の情報交流は、各園と学校とが連絡を取り合い、個人情報に留意しながら行うことが大切です。小学校の先生が、幼稚園・保育所(園)・こども園に足を運んでくださり、お子さんの様子を実際に見て、幼児期の育ちや学びについて情報交流することで、1年生の生活の始まりが、より一層スムーズになるのではないのでしょうか。コロナウィルス感染症対策をして、With コロナの中でも、育ちや学びをつなげていきましょう。

1 話題提供から学んだこと 《アンケートより》 抜粋

小学校

幼児期と児童期のスムーズな接続の大切さと難しさを毎年感じています。そのための引き継ぎは、学級編成をする上で大変参考になっています。どの学校・園でも最低限の大切にすべきことを共有することで、期待感をもって小学校に入学できるようにすることの重要性を再確認できました。

小学校

幼稚園や保育園で日常的に指導されていることが、小学校1年生のスタートにとっても大切な役割を果たすということ、学校生活を送る上で、指導し育てる要点をこのような場で共通理解することの重要性を学びました。

特別支援学校

小一の段階では個人差もあり、提示のあった項目が全て最後までやり遂げられる子どもは少ないのではないかと。『～ねばならない力』ではなく、これから『定着してもらいたい力』のような気がします。その中で、写真の中の子どもたちは頑張っていましたね。

まさに、幼稚園教育要領改訂の『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』が、小学校生活につながっていますね！



幼稚園

『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を意識して育んだことが、学校での姿として表れていることにうれしく思った。コロナ禍の不自由さはあるが、今後も引き継ぎや交流、それ以外での必要な情報提供を大事にしていきたい。

幼稚園

引き継ぎで伝えたいことは伝えるが、1年生となり、その後どのような様子で、どのような手立て、関わり、困り感があるのかを知りたい。知ることで、園でもう少し気を付けて関わったり、保護者と連携を図ったりすることもできるのではないかと。送り出した後こそ、情報交流できるようになるとよい。

保育園

環境の変化にも安心して過ごせるように、様々な工夫がされていると感じた。また、生きていく上で大切だと感じ育ててきたことが、違う環境においても発揮できているのだと思った。

こども園

コロナ禍における小学校での教育活動の取組。今まで通りにはできずに制約も増え、まさに With コロナの中で、どのような教育活動を展開しているかについて伺うことができた。

2 幼小連携や接続に関わり、困っていることや課題

小学校

就学後、引き継ぎをしていない子どもの困り感が出てきたときに、幼稚園や保育園でどんな様子だったか、どんな関わりをしてきたか、連絡を取り合うことをスタンダードにしていきたい。

幼稚園

すぐには難しいと思いますが、最終的には、幼児期に育まれる姿や力を小学校での教育にどのようにつなげていくかということを議論できるとよいと考えています。今は、小学校での教育のために、幼保でどのような準備をするべきかということにフォーカスされすぎているように感じています。

こども園

電話での引き継ぎだと、ニュアンスがマイナスに伝わってしまうことがある。時間が短く、伝えるのが難しいので、直接会って『見て、聞いて、話せる!!』時期が来てほしい。

保育園

保護者と子どもの関係性や保護者自身についての情報提供が難しい。



みんなで一緒に考えよう！！

3 その他、感想やご意見

- zoom だったので、校長、担当者、1年担任(2名)と参加でき、同時に本校の1年生についても話すことができました。(小学校)
- 次回は対面でのことでしたが、もし、オンラインで行う場合、最後にブレイクアウトルームなどで、少人数での情報交流ができるとありがたいです。(小学校)
- 全体研修の中にあつた『鉛筆の持ち方』『縄跳びの技能』『雑巾の絞り方』などは、家庭や幼稚園で指導しておいていただけると、1年生の始動はスムーズだと思いますが、やはりそれは難しいのかな・・・という思いもあります。小学校でも引き続きしっかり指導していくべきことだと感じました。(小学校)
- 幼稚園保育園こども園生活や小学校生活になかなか適応しにくい子どもへの対応方法を聞きたいです。(特別支援学校)
- 家庭で療育が不安定な子どもたち(虐待を含む)への家庭支援には、どのようなものがありますか?地域(関係機関)を含む引き継ぎ(連携)は、どうしていますか?(特別支援学校)
- 小学校でのスタートカリキュラムについて、具体的に学べるとありがたい。(幼稚園)
- コロナ禍での様々な工夫を今後も共有させていただき、参考にしたい。(幼稚園)
- 普通学級に通う困り感のある子に対して、学校側はどのように対応しているのか伺いたいです。保護者とのやりとりについても伺いたいです。(幼稚園)
- 実際の写真を交えての内容で、分かりやすかったです。幼保小の連携が密になると、今よりも子どもが過ごしやすく、たくさん力を身に付けやすくなるのではと、期待でいっぱいです。(保育園)
- zoom 研修だと参加がしやすく、映像を見たり、小学校の様子を知るために多くの職員が参加でき、よかった。映像、資料を見ながら、職員との意見交流が図れた。(こども園)

【代表者会 藤野南小学校 校長 板橋雅憲様からのメッセージ】

就学予定児、保護者の方の小学校の個人的な見学は、コロナ禍においても、各校で対応可能なはずです。各幼稚園、保育園、こども園の皆様におかれましては、希望される保護者がいらっしゃる場合、ぜひ各小学校にご相談ください。

【地域教育相談の御案内】 もいわ幼稚園571-5850

札幌市立もいわ幼稚園では、札幌市教育委員会(幼児教育センター)で受ける教育相談と同等の相談を受けることができます。子育ての悩み、お子さんの発達についての相談、就園や就学の情報提供など、相談者のニーズに応じた相談を受けています。必要な保護者の方にご紹介ください。

◇第2回 南区幼保小連携推進協議会の御案内(予定)

日時 10月26日(水) 15:00~16:45

場所 もいわ地区センター

内容 講演会

講師 藤女子大学 教授 大室道夫氏

※感染状況に応じては、zoom 研修(視聴)に変更を想定しております。

詳細については、2学期に、御案内します。

